



# 老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2014年10月  
発行責任者：永井 敏也  
発行者：広報委員会

## シスターのことば

### 『おとめマリアのロザリオ』

親しみ慣れたロザリオ、  
マリアと共に祈るロザリオ、  
持ち歩くバッグにはロザリオが、  
いつもお供しています。電車の中、  
バス待ちの時間、  
病気でベッドにいる時間、  
平和のため、家族のため、  
一人ひとりの必要な恵みをマリア様に  
取り次ぎを願って祈ります。



10月を教会では、ロザリオの月と呼んでいます。ロザリオ(バラの冠)と呼ばれるのは、玉をくりながら唱える祈りが、ちょうどバラの花輪を編むようなかたちになるからです。

神は受肉の神秘によって救いの計画を実現に移されるに当たり、天使をおくって、キリストの母となるべきマリアの承諾をお求めになりました。「私は神にお仕えする者です。お望み通りにいたします。」と申し上げてすべてを受け入れ、従順を表明されました。

「マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて思い巡らしていた(ルカ 2.19)」

マリア様はキリストから目をそらすことなく生き、キリストのことばをすべて胸に納めました。彼女は、御子のそばで過ごしたその生涯のさまざまな出来事を思い返すことになりました。なぜなら、彼女の心には、数々のイエスの思い出が刻まれていたからです。ある意味、これらの思い出は、マリアがその地上での生涯を通して、たえず唱えていた「ロザリオ」だったといえます。

ロザリオの祈りはキリストの生涯を黙想しながら聖母マリアの取り次ぎによって私たちの救いと世界平和の恵みを求めるのにもっともよい祈りです。

教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的書簡 「おとめマリアのロザリオ」より抜粋

社会事業相談員 Sr.高橋 順子

### — 利用者様の作品 —



## 家庭でできるノロウイルス感染予防

毎年11月から翌年4月にかけて、激しいおう吐、下痢を発症するノロウイルスによる感染症が流行します。ノロウイルスは、2枚貝の生食による食中毒が有名ですが、感染力が非常に強く、人から人に感染し、爆発的に流行することがあります。

感染してから発症するまでの潜伏期間は10数時間～数日（平均で1～2日）であり、症状の持続時間も同じくらいです。持病がある人、体力が低下している人は重症化する事もあるので注意が必要です。

特効薬はありませんので、脱水にならないように、水分を補給することが一番大切です。

### 感染予防策

- ◇ 帰宅時、トイレ後、食事前は家族全員、流水と石けんで手洗いをしましょう。
- ◇ 貝類を調理する際は十分に過熱してください。使用後の包丁やまな板はすぐに熱湯消毒をしましょう。
- ◇ 調理前後、配膳するときにも流水と石けんで手洗いをしましょう。



### おう吐物の処理

#### （準備）

- ◇ 消毒液（※）を作ります。  
「500mlのペットボトル」に「水490ml」と「塩素系漂白剤（ハイター・ブリーチなど）10ml（ペットボトルのキャップ2杯）」を入れて、蓋をしてよく混ぜます。
- ◇ マスク、使い捨て手袋（ない場合はビニール袋で代用）、エプロンを着用します。
- ◇ 窓を開け、換気をしながら行ってください。



#### （処理の方法）

1. おう吐物をペーパーなどで、外から内側に向かって静かに拭き取り、ビニール袋に入れます。
2. 拭き取った場所は消毒液（※）を浸した別のペーパーなどで拭きます。  
※金属部分などは腐食の恐れがありますので、約10分後に水に浸したペーパーなどで、消毒液を拭き取ってください。  
※カーペットなど、変色の恐れがある場合は、あて布をして、アイロンを約1分間当ててください。
3. 拭き取りに使ったペーパーなどは、ビニール袋にいれ消毒液（※）を上から掛けてから、しっかりと袋の口を縛ります。
4. おう吐物（ウイルス）の付着した衣類やエプロンは消毒液（※）に10分以上浸すか、85度以上の熱湯で1分以上になるように熱湯消毒を行い、他のものと分けて洗濯をします。  
塩素や高温で衣類が傷む恐れがありますので、十分に注意しましょう。
5. 最後に、流水と石けんで十分に手洗いをします。塩素で手を消毒しないでください。

### 復活祭ミサ

平成26年4月23日（水）



### バラ園散策

平成26年5月28日（水）



### 防災訓練

平成26年7月9日（水）



### サンタ祭り：平成26年6月28日（土）

チアリーディング、職員によるジャズダンス、寸劇「サンタマ医院の一日」など、今年もパワフルでした！！



### 不二聖心女子学院親子慰問

平成26年7月25日（金） / 8月8日（金）



### サンタマリア祭ミサ

平成26年8月20日（水）



### 長寿を祝う会：平成26年9月13日（土）

100歳超の方が6名！！ 皆様のご長寿をお祝いしました



## 部門紹介【聖霊居宅介護支援事業所】

平成12年4月に介護保険スタートと同時に開所しました聖霊居宅介護支援事業所は、老人保健施設サンタマリアの2階の一室にあります。現在ここでは、沼田と山内の2名のケアマネージャーが仕事をしております。

ケアマネージャーの正式な資格名称は「介護支援専門員」ですが、多くの皆様は「ケアマネさん」と愛称で呼んで下さいます。

私どもは、自宅で生活されている要介護状態の方の居宅サービス計画書(以下、ケアプラン)を作り、デイサービスや訪問介護、ベッドのレンタルなどの介護サービスを利用していただき、自宅での生活を無理なく続けられるように支援する仕事をしております。

ご本人様のお体のご状態を確認した上で、ご本人様、ご家族様のご意向を伺いながら必要なサービスを受けていただくためのケアプランを作成します。そのプランをもとに各サービス事業者との連絡調整を行い、サービス担当者会議を開催し、サービスを受けていただきます。また、毎月ご自宅へ訪問して生活のご様子を伺い、サービスに不足はないか確認したり、調整したりします。そのほかにも、区役所への各種届け出の代行申請、介護サービス以外のサービスの調整など多岐にわたり、介護だけでなく医療や福祉などいろいろな知識が必要となります。

沼田は、平成3年より13年間、老人保健施設サンタマリアで看護職として勤務し、平成18年より現職につき、医療系に強いケアマネとして、また事業所の管理者として、毎日慌ただしく飛び回っております。

山内は、ヘルパーステーションの管理者を経て、平成12年よりケアマネージャーとして働き、平成20年より聖霊居宅に勤務。非常勤ながらご利用者様の為に日々奮闘しております。

聖霊居宅介護支援事業所はたった2名の小さな事業所ですが、聖霊会の「愛と奉仕」の理念の元、ご利用者様、ご家族様の事を第一に考え、皆様に信頼される、親しみやすいケアマネとして認めていただけるように努力して参ります。皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



## 永年勤続表彰

平成26年8月8日に永年勤続者の表彰式が、聖霊病院で執り行われました。

サンタマリアからは2名の職員が表彰されました。

◇ 勤続10年  
阿部利恵(介護部門)  
村松雅子(介護支援専門員)



## 冬季感染症について

インフルエンザ、ノロウイルスなどの冬季感染症に注意しましょう。

◇ 今年も施設内で、ご入所の方のインフルエンザ予防接種を実施いたしますので、ご協力ください。

◇ インフルエンザやノロウイルス感染症を発症または疑いのある方は、ご面会をお控えください。やむを得ず来所が必要な場合は、ご相談くださいますようお願い致します。

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101 Email：info@santamaria.or.jp

電話：052(803)3611

ホームページ：http://www.santamaria.or.jp

FAX：052(803)7435

次回発行予定 平成27年4月